

りょうしすい
μミューとロマーノ 量子水のおはなし
いいもの研究所® <https://www.iimono-lab.org>

μミューとロマーノが、毎日せっせとぐるぐる🌀装置でつくっている求心性・螺旋系の量子水でキノコを培養すると

ATPの合成量が5.3倍に

イオン交換水 直径4.9cm ATP合成9.802 : 量子水 直径8.4cm ATP合成52.891



昔から、落雷の後には、キノコがたくさん出るといわれていた...今では、常温の大気圧で、低温のプラズマを発生する技術もあり、水耕レタスが30%増収できたりするのに似ている なぜなら、量子水は、金属の自由電子を水道水に供与するしくみだから...

ミトコンドリアで行われる、呼吸鎖の生体エネルギー発電⚡の最終工程=電子伝達系は、電子の受け渡しだけで反応が進んでいく しかも、藻類~植物~動物~人間まで同じしくみでATPを産生している

参考: ヴィクトル シャウベルガー 二重螺旋・渦巻の水に与える影響

東京工業大学 沖野晃俊准教授 大気圧低温プラズマ

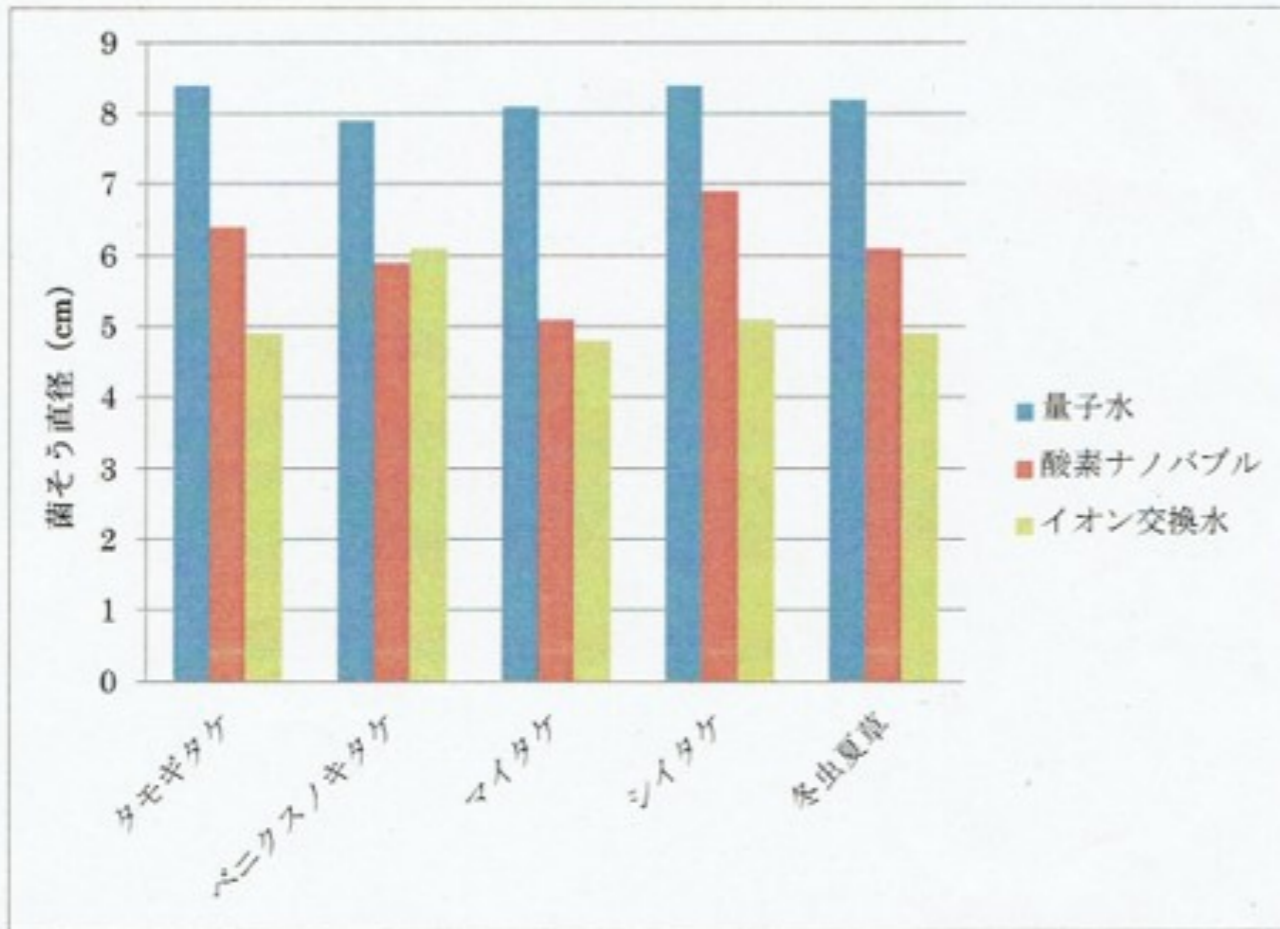


図2 キノコの菌糸成長におよぼす各処理水の影響：固体培地 (n=30)



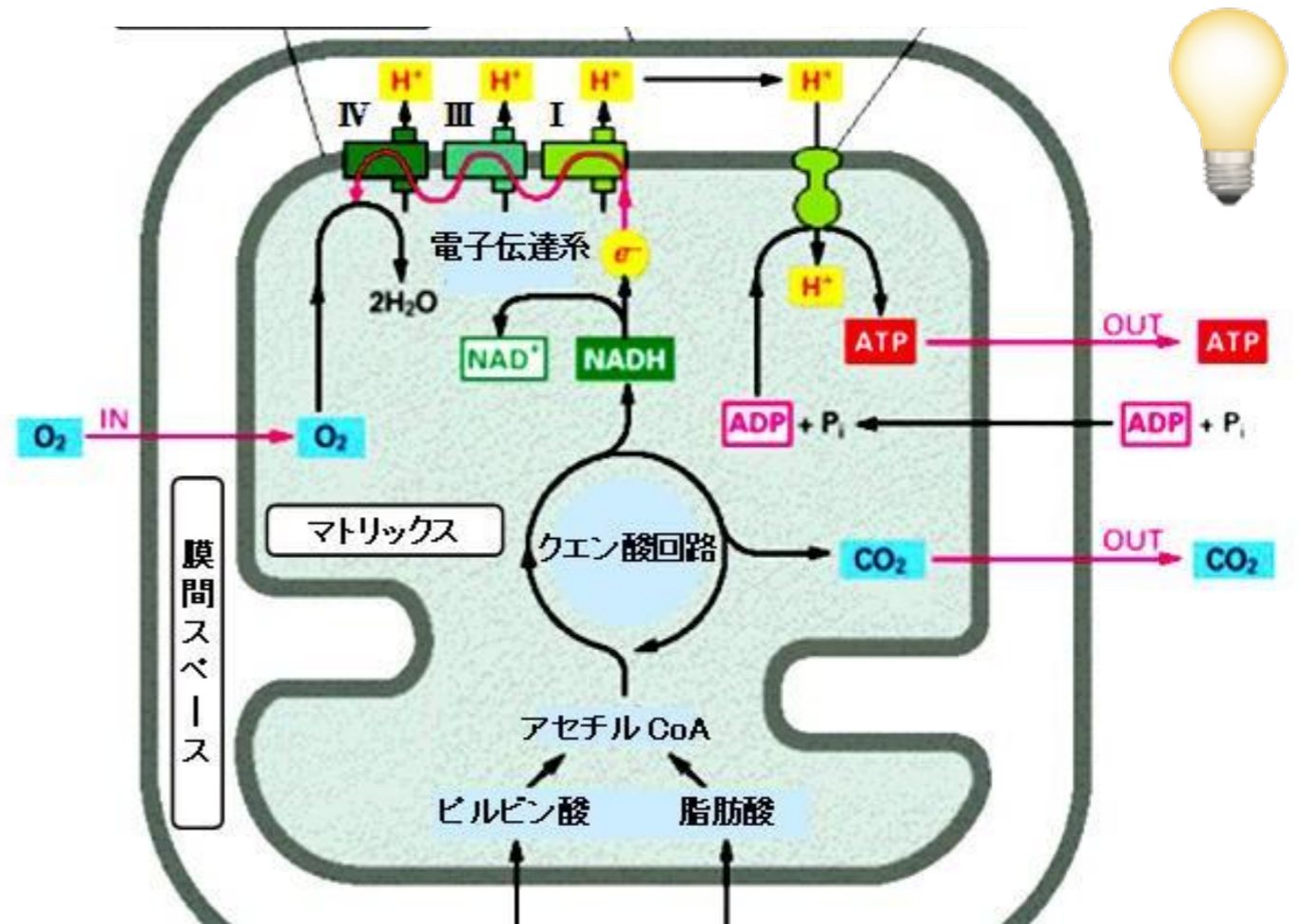
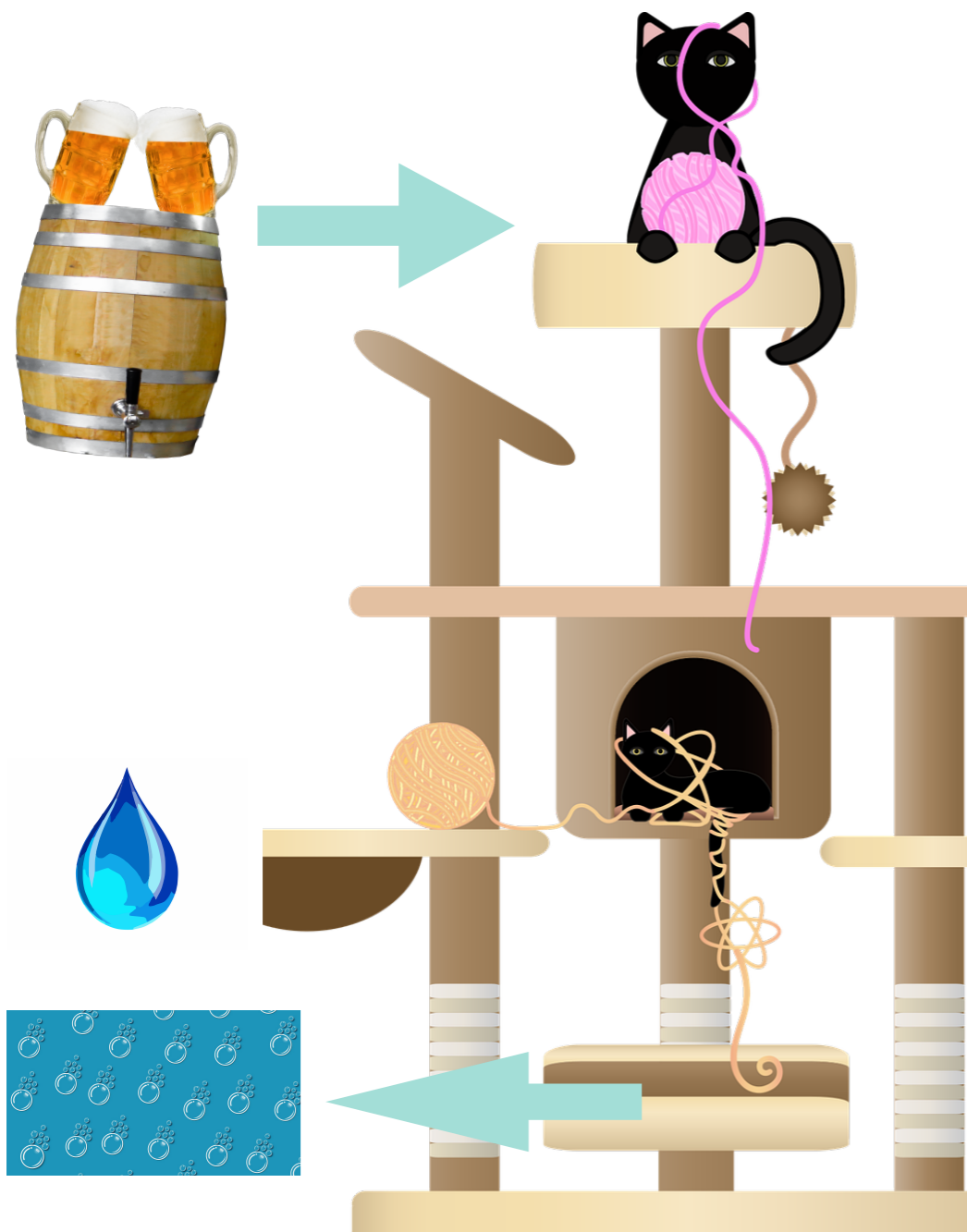
タモギタケ

ベニクスノキタケ

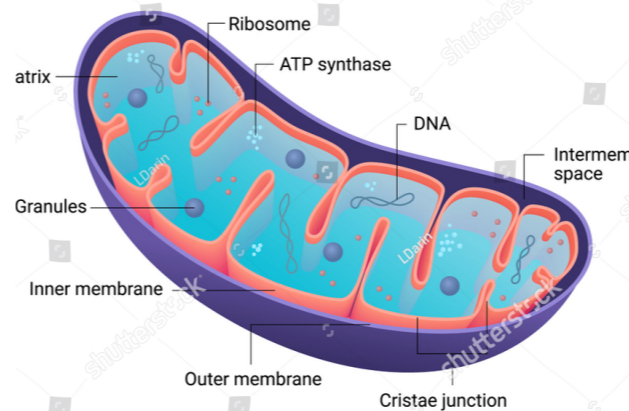
量子水の特徴は、界面活性が水道水の約1.2倍、表面張力もやや小さく... お湯が沸く、野菜が煮える時間が早く感じる、洗剤を使わなくても汚れが落ちやすい、水槽の水を交換しなくても大丈夫などすぐに実感する
酸化還元電位は+210と驚くほど低くはないが、pHも7.4前後で、血液をはじめとする体液に近いといえる
しかも、ナノバブルのように圧力をかけて気体を投入することもない

育成が促進されるには、エネルギー供給がスムーズに行われる = **ATPが** **増加する**必要がある

特許取得済



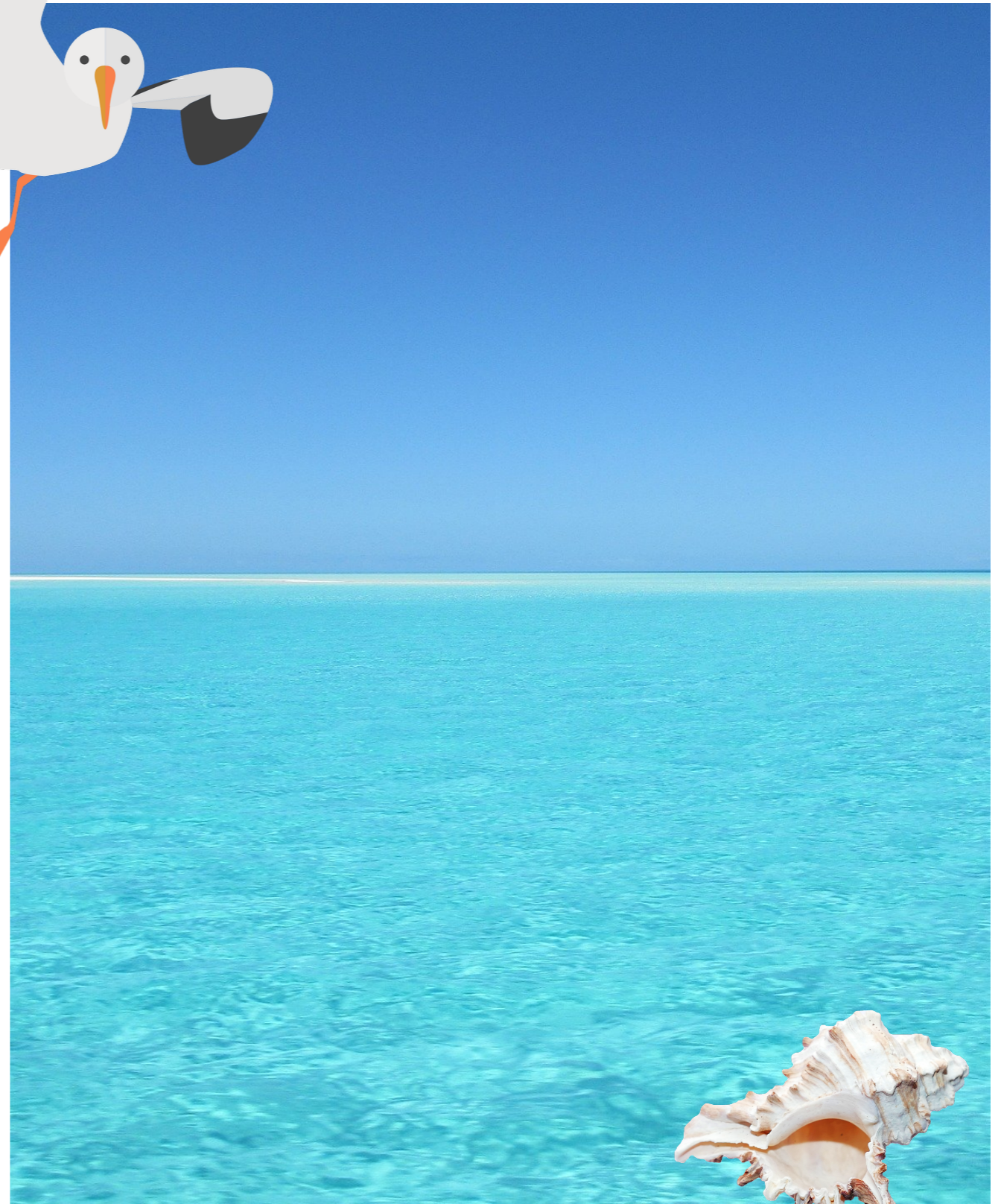
MITOCHONDRIA



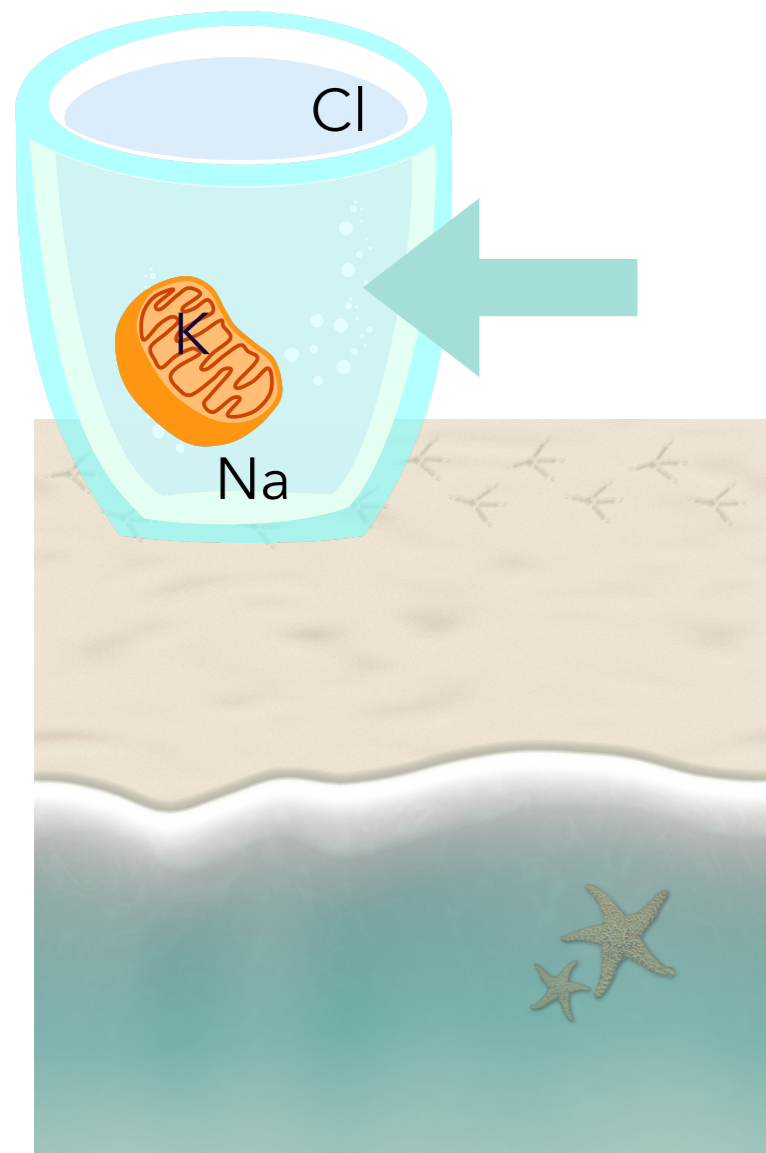
筋肉、心臓、肝臓、腎臓など赤い色をした臓器にはミトコンドリアが多いといわれる 血流量・発熱が多く、まさに休みなくフル稼働しているイメージ

例えば、肝臓で分解されるアルコールは、酵素と電子のはたらきでいくつかの工程を経て、最終的には、ミトコンドリアの電子伝達系で水と二酸化炭素になっておしまい...めでたしめでたし

ヒトのからだの70～50%は、
水分で、大人になるにつれて減少
してゆく...成人で1日に180ℓの水が
必要とされ、飲食で2.5ℓ吸収して、
尿や汗で2.5ℓ排出しているから、
けっきょくは、180ℓの水分が腎臓で
る過・再吸収されて、6回くらいぐる
ぐる巡っているイメージになるらしい
そのうち2/3の水は、細胞内にある
からだの中で、いちばん水を抱えているの
は意外にも「筋肉」...高齢者は筋肉が減少
し衰える傾向にあるから、隠れ脱水になり
やすい...水をたくさん飲んでもすぐには吸
収されにくく、むくみや冷えになりやすい

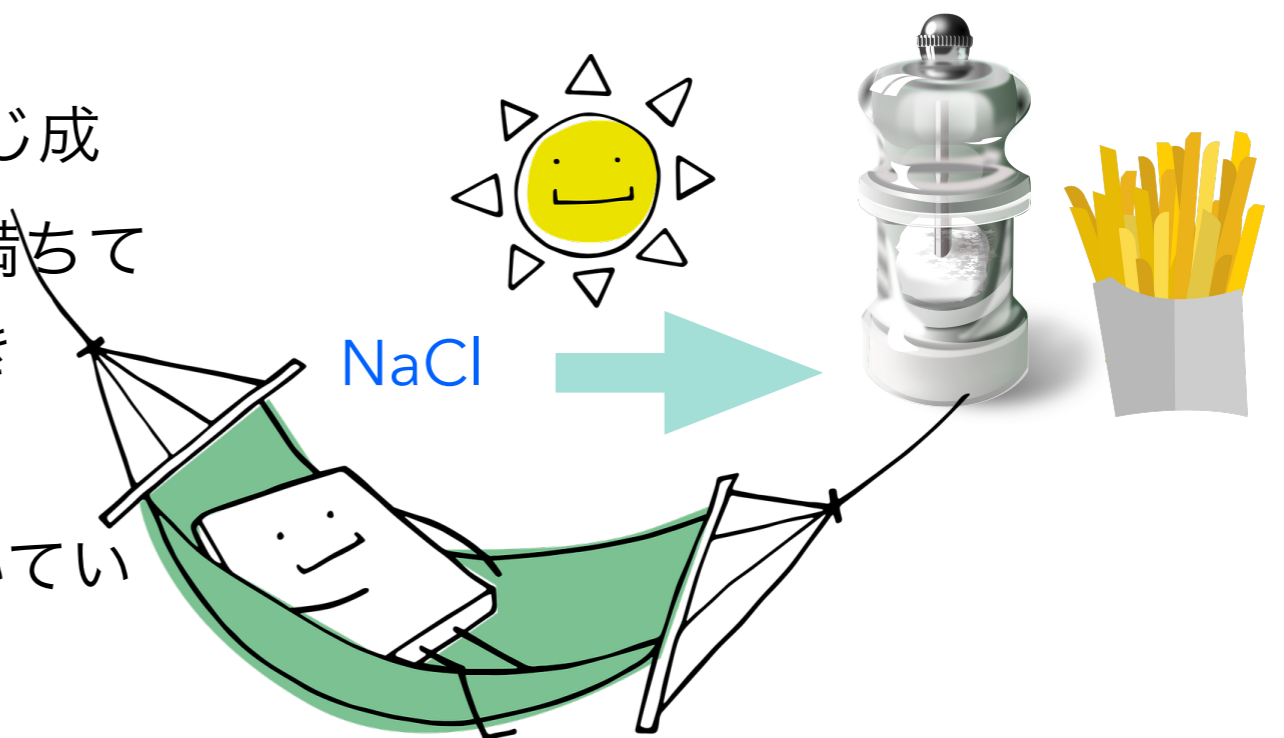


わたしたちのからだは、海とほとんど同じ成分の血液や細胞の浮かぶ細胞外液で充ち満ちていて、食事を摂らなくてもしばらくは生きられても、水と電解質がなければ数日の命になる...神経も心臓も電気仕掛けで動いているから電気を通すイオンが欠かせない



水は、磁石のような双極性と水素結合の2つのはたらきをもっているから、いろいろなものを溶かし込む、海には60種以上のミネラルが含まれていて、いちばん多いのが塩分...細胞の中はK(カリウム)、外はNa(ナトリウム)が多く、細胞膜をはさんで浸透圧のバランスが保たれている Na + Cl⁻は、水のO⁻やH⁺とくっついて、別々になる

砂糖は電解質ではないが、OH⁻と周りの水のH⁺がくっついて水和するからきれいに溶けて見えなくなる



からだの水がぐるぐる回っているのは腎臓のおかげ

1日180ℓもの水→ペットボトル90

本を何度もろ過して、まだ必要な電解質は残して再吸収している

細胞膜は基本的には水を通さないが、アクアポリン1~13という小さなタンパク質の穴を通るものもある...AQP3は、腎臓の尿濃縮に関

わっていて、皮膚や気管支などにも多く分布している

今、飲んだ水が、からだの隅まで届くのに40分くらいかかるらしいから、すばやくチャージできる、水和力の高い水を選びたいところ

量子水は特にAQP3を優位に通過することが解っている

量子水は特にAQP3を優位に通過することが解っている

量子水は特にAQP3を優位に通過することが解っている

量子水は特にAQP3を優位に通過することが解っている

量子水は特にAQP3を優位に通過することが解っている



水耕栽培は、水が血液に相当？

量子水で水耕すると、病気にかかりにくい、カビが生えにくい、破棄率が1/50になったと聞いたりする...ATPの産生が向上するからアンチエイジング=育成推進力にはたらくのだろうか？

生体エネルギー産生の好氣的な反応を呼吸鎖と呼ぶ... 呼吸といえは肺のはたらき、とすぐに思い浮かぶが、薬膳の解釈では、呼吸は肺のみにあらずで、肺の吸い込む作用を腎の引き下ろすはたらきが同時にサポートできて成り立つとされている

だから、年老いて腎機能が低下してくると呼吸が浅くなり、肩で息をするようになる

切り花の切り口が傷んで、もう、水を吸い上げられない姿に似ているかも知れない

おすすめ参考書籍

上平 恒「水とは何か」講談社ブルーパックス

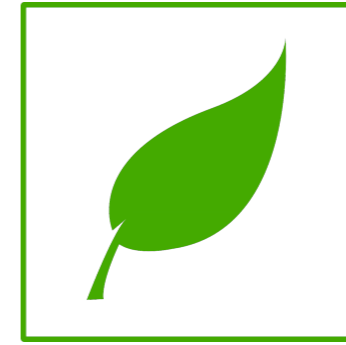


ヒトもマウスもゲノム[🧬]の数はほとんど変わらないという事実は衝撃的でした
環境に対応して遺伝子に依らない発現をする細胞のエピジェネティックなふるまいには畏敬の念を覚えます...

自然の摂理は万物のことわり
水の水和力→二重性のふるまいからも偉大でシステムチックないのちの営みを感じますね



真核生物は、藻類からヒトまで、ミトコンドリアでATPを発電するから、キノコや植物の比較だから自分には関係ないとはいえない... そもそも、わたしたちは、すべてを脳で判断して決めているわけではないし、エピジェネティックでシステムチックなのちの営みは、自然の摂理に自動的に従う植物の水耕は、水以外に違いはないから、自宅でも簡易的に比較することができる



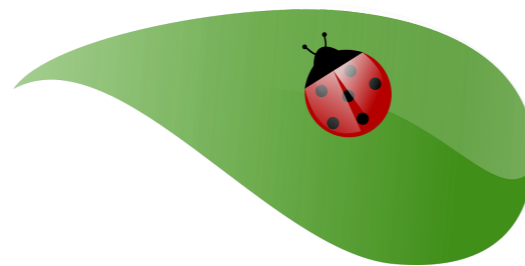
ミトコンドリアは、もともとは別のDNAを持った細菌がわたしたちの細胞にとりこまれ、共生するようになったと考えられていて、しかも、母系の遺伝のみに支配されている不思議な生きもの... だから、わたしたちは「他力」で生かされている一面もある、と謙虚に考えてみると、水に挿した植物の再生を見るのは、なんとも楽しい 量子水を使うと、豆苗やの再生が思いのほか早く、ボウルの水に浸けた大根の葉がピンと伸びておかしいくらいにカサが増すのに驚かされる

2週間後...



左:水道水

右:量子水



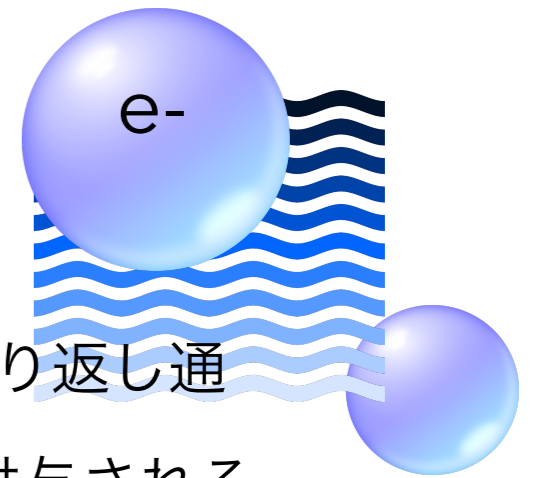
キャベツの芯を2等分してグラスに挿してみる

水=酸化水素は分子だが、酸素原子1つと水素原子2つがまわりの水分子ともくっつきあって離合集散していて、一瞬にも満たないたったの10-12秒の刹那で変化しているらしく、蛇口から流れ出て、手のひらに触れる水は一瞬として同じではない...分子→原子→陽子・中性子、原子→クォーク・レプトンと見えない量子の世界に目を向けてみると、ぐるぐる🌀装置でつくられた量子水は、まさに、量子のふるまいによって水道水が変化したことをうかがい知ることができる

すべてのものは、固有の周波数で振動・共鳴している
おひさまを温かく感じるのは、太陽からの電磁波(この場合は赤外線)が反射して、皮膚の分子を振動させるから...

「光のエネルギーは、波でもあり粒でもある」
光電効果でノーベル賞を受賞したのはアインシュタイン

量子は、エネルギーの最小単位、素粒子は、物質(粒)としての最小単位とされる
ぐるぐる🌀装置のコアをくり返し通過する水には、電子(e-)が供与される
が目には見えない...しかし、見えない、わからないから存在しないわけではない、電子を1粒の光子(光子)として検出するセンシング技術が進めば、電子の真の姿を目視化できる日も来るだろう



電子の動きをイメージしてみる...

電子レンジは、マイクロウェーブ(電波)が食品中の水を振動させて温めるしくみだから、比較したい水を同じだけ同じ容器に入れてチンすれば、水の分子の熱運動が比較できる

室温 12.0°C 水温 12.1°C で、 100cc の水道水と量子水を温度計で測りながら1分ずつ加熱すると

水道水 $48.8 \rightarrow 72.5 \rightarrow 90.8^{\circ}\text{C}$

量子水 $42.5 \rightarrow 66.5 \rightarrow 85.1^{\circ}\text{C}$

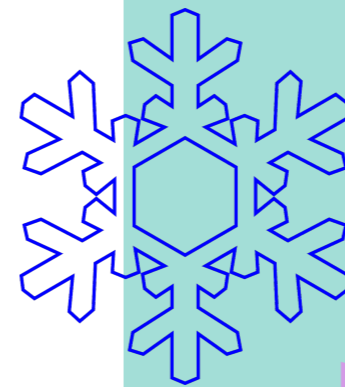
量子水の方が、比熱が大きいことがわかる

次に、容器に水を入れて一晩凍らせたものをゆっくり加熱してみると、水道水の方が早く溶けて、量子水が溶けにくく沸騰しにくい水→水素結合がより多く結合され、エントロピーが小さく、安定的な構造状の水になっていることが想起される

レンジでチン...



左:水道水 右:量子水 左右を入れ替えて追試し、
平均値を表示



左:量子水の氷 右:水道水の氷

石油ストーブの天板に銅板を乗せ、念のため別の水も加えて3つで比較した、水道水の氷は溶けても量子水の器にはまだ氷が見える



株式会社ウェルネス vG量子水装置を使った水の研究をしています



黒ネコのμミューとオオカミ犬のロマーノは研究所のキャラクター



いいもの研究所®は、合同会社クリエイションのホームページです

<https://www.iimono-lab.org/>

creation@iimono-lab.org